

# こどものまち 「みやっこタウン」の開催

令和6年度実施分 宮古市提案事業

実施団体名：NPO法人みやっこベース

協働対象部署名：宮古市教育委員会学校教育課

実施日（期間）：2024年4月～2025年3月

# 解決したい課題（事業のテーマ）

## ①子どもの体験活動、キャリア教育の充実

- 子どもの自己肯定感の低さが問題
- 地域の教育力の低下→地域での体験活動の減少

## ②若年層の人口流出

- 高校卒業後、進学や就職のため転出
- 地域の企業や産業を十分に知っているとしターン意向が高まる？

# ①子どもの体験活動、キャリア教育の充実

## 自身について

日本は「自分には人に誇れる個性がある」「自分は他人から必要とされている」「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」「自分のしていることには、目的や意味がある」「自分の人生には、目標や方向性がある」で6カ国中最下位となった。  
また、日本は「日々の生活で不安やゆううつを感じる」が65.3%で、6カ国中最も多い。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位：%)	自分には人に誇れる個性がある	自分は他人から必要とされている	日々の生活が楽しい	日々の生活で不安やゆううつを感じる	勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある	自分のしていることには、目的や意味がある	自分の人生には、目標や方向性がある	目標を立て、何かを達成した経験がある
日本	47.9 6位	52.7 6位	67.7 5位	65.3 1位	80.4 6位	63.5 6位	60.6 6位	75.2 5位
アメリカ	74.0	67.7	69.0	58.0	81.5	70.0	75.2	76.8
イギリス	72.2	64.6	63.4	56.7	82.7	67.8	73.6	73.4
中国	74.2	77.3 1位	79.5 1位	46.2	82.4	82.6 1位	81.3	78.1
韓国	68.9	73.7	76.1	49.0	83.9	79.9	74.5	84.5 1位
インド	84.0 1位	59.6	78.4	35.1	88.8 1位	80.1	88.2 1位	79.2

# ①子どもの体験活動、キャリア教育の充実

## 自身と社会の関わりについて 1/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。特に「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他の国に差をつけて低い。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位：%)	自分は大人だと思 う	自分は責任があ る社会の一員だと思 う	自分の行動で、 国や社会を 変えられると思 う	国や社会に役立 つことをしたいと思 う	慈善活動のため に寄付をしたい	ボランティア活動 に参加したい
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 1位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 1位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 1位	78.9 1位	92.6 1位	83.7 1位	78.1

# ①子どもの体験活動、キャリア教育の充実

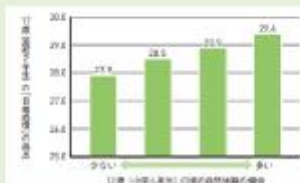
## 結果 1 小学生の頃に体験活動などをよくしていると、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました

21世紀出生児縦断調査で回答されたデータを再分析したところ、小学生の頃に体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情（自分に対して肯定的、自分に満足している、など）や外向性（自分のことを活発だと思つ、精神的な回復力（新しいことに興味を持つ、自分の感情を調整する、将来に対して前向き、など）といった項目の得点が高くなる傾向が見られました。また、小学生の頃に異年齢（年上・年下）の人とよく遊んだり、自然の場所や空き地・路地などでよく遊んだりした経験のある高校生も同様の傾向が見られました。

このことから、**小学生の頃に行った体験活動などの経験は、長期間経過しても、その後の成長に良い影響を与えていることが分かりました。**また、経験した内容（体験活動や読書、遊び、お手伝い）によって影響が見られる項目や時期が異なることから、子どもの健やかな成長を確かなものにしていくためには、1つの経験だけでなく、多様な経験をする必要があるということも窺えてきました。

### 「体験活動」の影響

体験を多くすることによる影響を自然体験（キャンプ、登山、川遊び、ウィンタースポーツなど）、社会体験（農業体験、職業体験、ボランティア）、文化的体験（美術館・博物館・美術館見学、音楽・法廷鑑賞、スポーツ観戦など）に分けて分析したところ、自然体験では主に自尊感情や外向性、社会体験では小・中・高校生の時期の内向学校的意識（勉強・授業が楽しい）、文化的体験は全ての意識（裏面参照）に良い影響が見られることが分かりました。



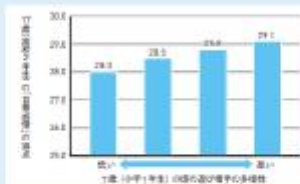
### 「読書」の影響

読書を多くすることによる影響を分析したところ、新奇性追求（新しいことに興味を持つ、など）や感情調整（自分の感情を調整する、など）、肯定的な未来志向（将来に対して前向き、など）といった精神的な回復力や、小・中・高校生の時期の内向学校的意識に良い影響が見られることが分かりました。



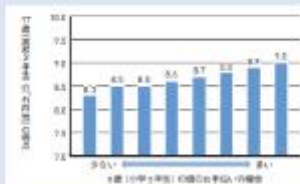
### 「遊び」の影響

遊び相手などによる影響を分析したところ、異年齢の子とも家族以外の大人とよく遊ぶなど多様な相手と遊ぶ機会が多いと、自尊感情や外向性などに良い影響が見られることが分かりました。



### 「お手伝い」の影響

お手伝いを多くすることによる影響を分析したところ、自尊感情や外向性を始め、精神的な回復力、内向学校的意識など、全ての意識に良い影響が見られることが分かりました。

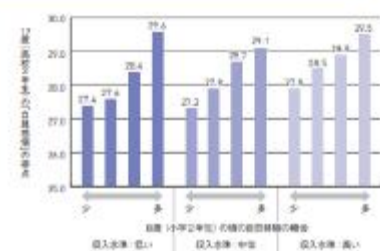


※上記の図表の情報は、令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究報告書、の「学校現場（各調査-分析結果の図表）」をご覧ください。

## 結果 2 体験をよくしていると、家庭の経済状況に関わらず、良い影響が見られることが分かりました

子どもの成長には家庭環境の要因も影響することが考えられることから、子どもが置かれている環境（家族構成、収入、住環境、親のしつけ）を考慮して体験の影響を分析しました。その結果、小学校の時に体験活動などをよくしていると、家庭の環境に関わらず、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました。

そこで、世帯収入の水準別に分けて体験と意識との関係を分析したところ（右図参照）、**収入の水準が相対的に低い家庭にある子どもであっても、例えば、自然体験の機会に恵まれていると、家庭の経済状況などに左右されことなく、その後の成長に良い影響が見られることが分かりました。**



## 社会全体で子どもたちの成長を支えていきましょう

### 多様な形で「体験」の場や機会をつくっていくことが重要です

小学生の頃に経験した「体験活動」（自然体験、社会体験、文化的体験）「読書」「遊び」「お手伝い」とその後の意識の関係を分析した結果、それぞれの体験の特性によってその後の意識に異なる影響が見られることが分かりました。

そのため、**子どもの健やかな成長を確かなものにするためには、何か1つの体験をするだけでなく、多様な体験をすることが必要になると考えます。**

また、体験する機会がよくある子どもは、家庭の収入や親の学歴が高い傾向にあることなどが背景にあると考えられますが、収入の水準が相対的に低い家庭の子どもであっても、体験活動などをよくした子どもはその後の成長に良い影響が見られることが示されました。そのため、**全ての子どもたちが様々な体験にチャレンジできるよう、周りにいる大人が「意図的」「計画的」にその機会や場を設けるようにすることが大切です。**

### できることから連携してやっていきましょう

今後は、全ての子どもたちが置かれている環境に左右されことなく、体験の機会を十分に得られるように、みなさんと力を合わせて**「多様な体験を土台とした子どもの成長を支える環境づくり」を進めていくことが重要です。**

そのためにできることとしては、家庭ではお手伝いや読書の習慣を身に付けるようにする、地域では放課後などに地域の大人と遊びを通じて交流する機会を設ける、学校では社会に開かれた教育課程の実現を目指して地域と連携しつつ体験活動（自然体験・社会体験・文化的体験）の充実を図るといったことなどが考えられます。こうした取組を通じて家庭・地域・学校が連携し、社会全体で子どもたちの成長を支えていきましょう。



文部科学省では、豊かな体験活動を通じた青少年健全育成の推進について広く理解・普及を図るため、体験活動推進特設ページ（たっぷり体験）を開発しています。

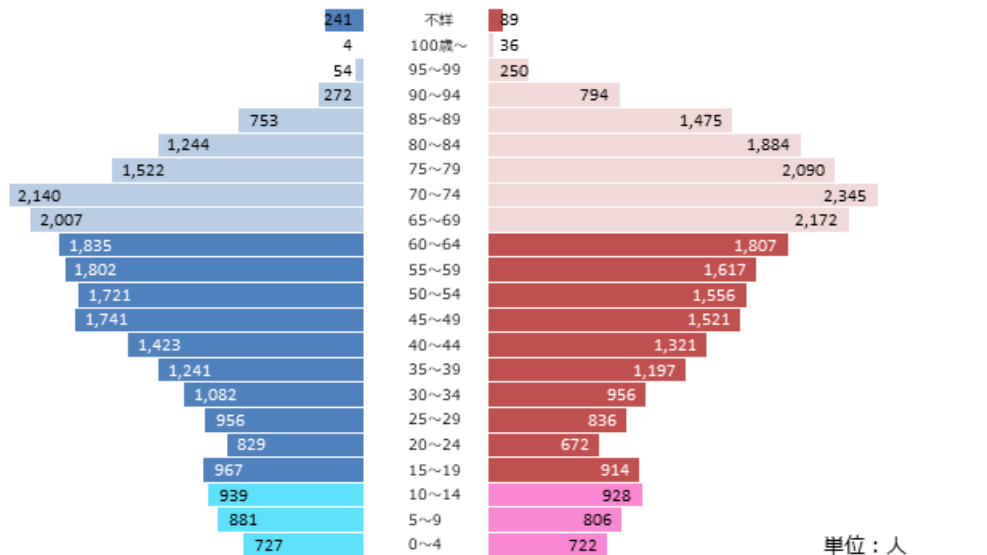
文部科学省 たっぷり体験 [検索](#)

# ②若年層の人口流出

2020年 宮古市の人口構成

男性計：24,381人

女性計：25,988人



総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、  
総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を基にGD Freak!が作成

図14 出身市町村へのUターン希望  
—出身市町村への愛着有無別—  
【出身県外居住者】

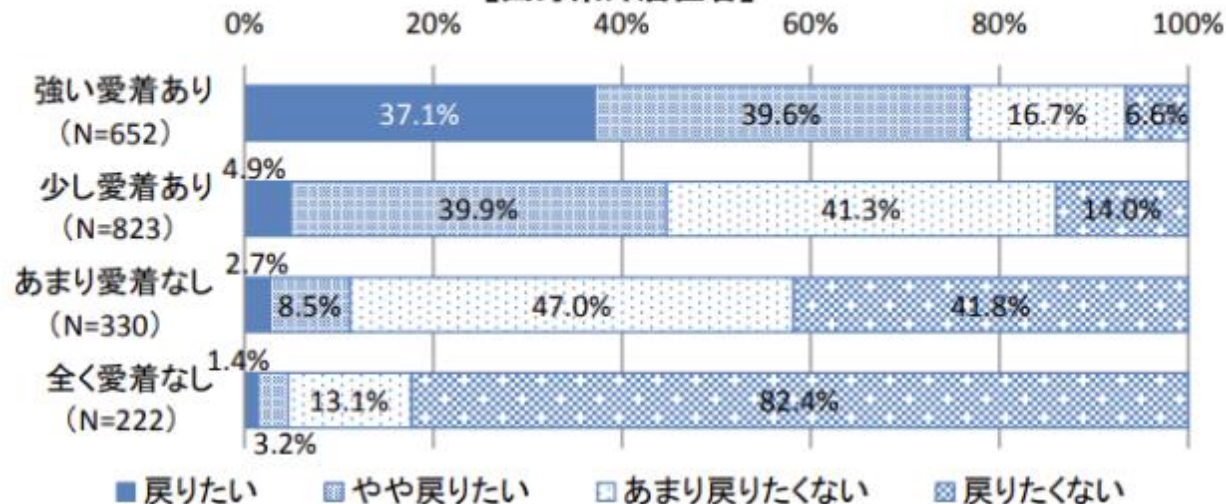
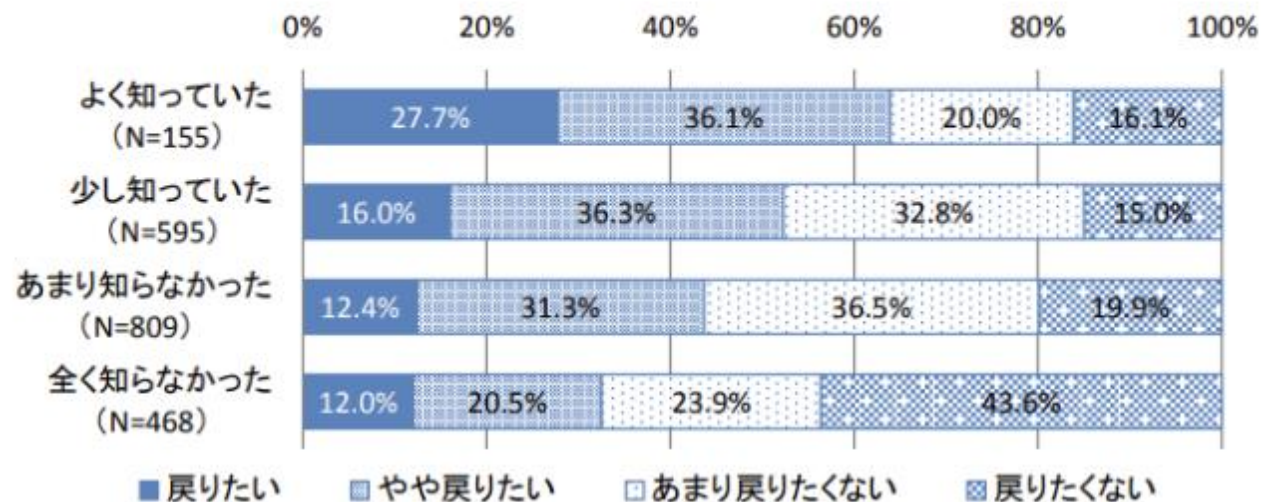


図15 出身市町村へのUターン希望  
—高校時代までの地元企業の認知程度別—  
【出身県外居住者】



# 事業の内容と成果など

## ○こどものまち「みやっこタウン」開催

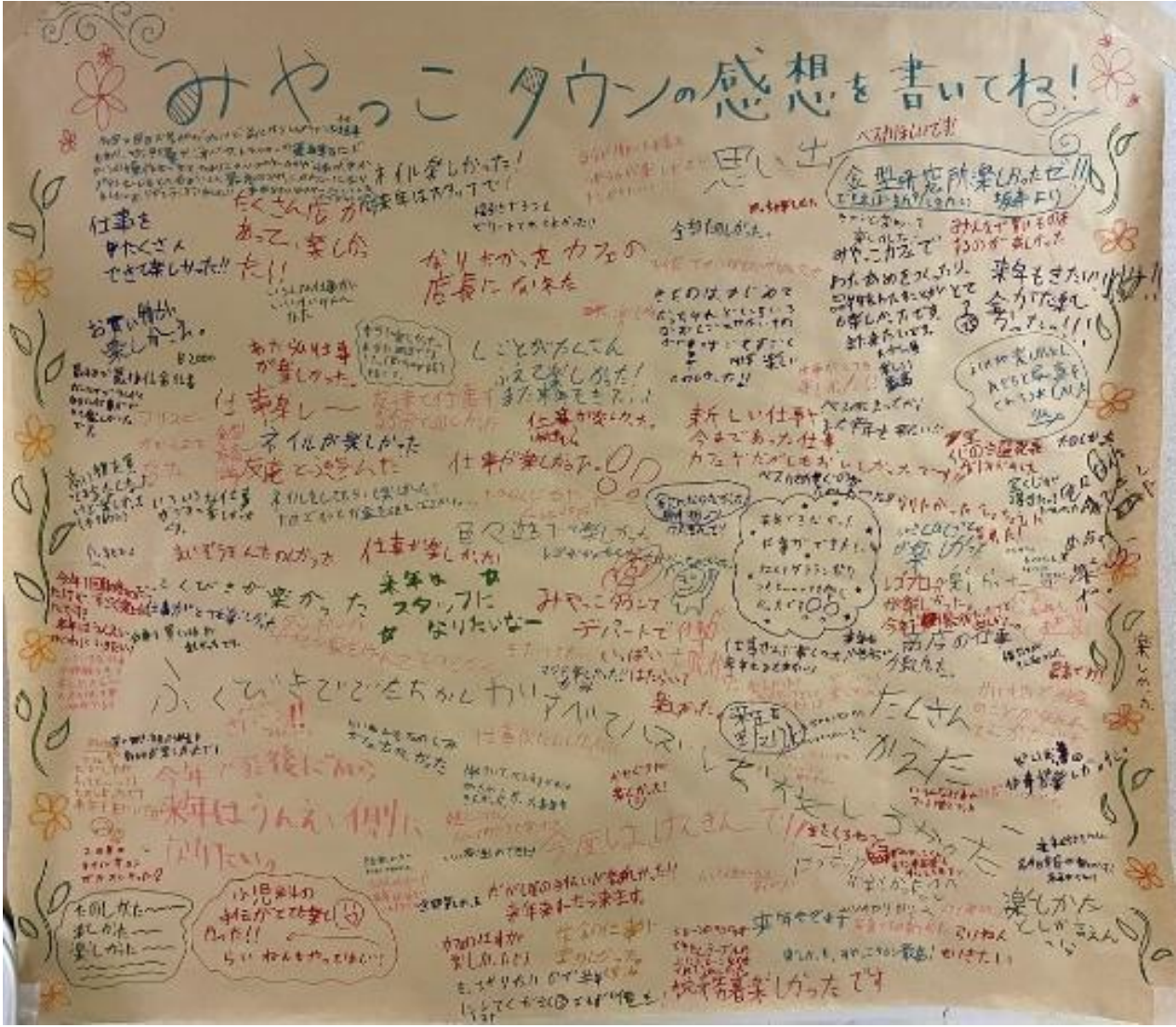
参加者がみやっこタウンの市民となり、「仕事」「大学」「消費（遊び、買い物）」などの合計46ブースで、宮古の仕事体験や納税などを行い、楽しみながら社会の仕組みを学んだ。今回初めて市長選挙を行い、みやっこタウン初となる市長が誕生した。



日 時：2024年9月21日(土)22日(日)  
会 場：旧赤前小学校  
参加児童：のべ263人（小学4～6年生）  
（1日目136名、2日目127名）  
協力団体：34社・団体（46ブース）







# 保護者アンケート

今回体験した職業に興味を持ったらしく、  
どうすればその職業に就く事が出来るか質問していました。

すでに来年も行きたいと言っていました。  
特に、**今まで名前しか知らなかった金型のお仕事**が特に楽しかったようです。

違う職種でも、一緒にお仕事をしたりする事もある事に驚いたようで、  
**大人も会社も協力してお仕事をしているんだ**と学んだようでした。

1日目はたくさん働いて買い物をせず、二日目はいろんな学校の人と話を一緒に  
ブタメン食べたり（笑）おやつを買って食べたり、**友達が増えた**と話していました。

自分で行けるから大丈夫、自分でやるよ！と**自立を感じました**。

楽しいというウワサを他のママさん達から聞いていて、子供もぜひ行きたいと初めて参加しました。  
帰りのバスから降りてきた顔は、**キラキラ輝いていて、充実した時間が過ごせた事**が伝わってきました！

**田舎にいと都会のこのようにいろんな体験を出来る経験値が少ない**わけですが、  
みやっこタウンのお陰で**色々な体験が出来ている**と思います。

初日を踏まえて明日はどうしようと、帰宅後から夜中考えて、朝起きてからも考えて、これはとても素晴らしいことだなと思って見てました。親が見ることができない環境なのでまともなアドバイスできなかったのですが、それだからこそ、**大人の考えに左右されない行動を自らの意思で行っていたので、大きく成長した**と思います。

# 事業の内容と成果など

## ○子ども実行委員会の結成、運営

市内の中学生を募集し、6名の中高生がジュニアスタッフとして参画

6月29日（土）のキックオフ以降、定期的な会議と、個別での企画立案、準備のサポートを行った

ジュニアスタッフによる企画として、「宝くじ」や「フォトスポット」「クエスト」を企画実行したほか、当日の司会進行や、インフラブース運営などにより参加児童のサポート役を担った



# 事業の内容と成果など

## ○こどものまち勉強会開催

「こどものみらいシンポジウム」という名称で、NPO法人いわて連携復興センターと協働で実施した。高知県で「とさっ子タウン」を企画運営している畠中洋行氏を講師に招き、事例の発表を行っていただいた。34人が参加し、「とさっ子タウン」の開催経緯や運営方法などについて理解を深め、意見交換を行った



# 事業の経費

## 収入

提案事業予算	1,500,000
参加者負担金	134,000
企業負担金	55,800
実施主体負担金	171,944
合計	1,861,744

## 支出

消耗品費	154,253
印刷製本費	215,695
役務費	406,597
原材料費	128,339
謝金	30,000
旅費交通費	75,960
人件費	710,100
食糧費（対象外）	140,800
合計	1,861,744

# 協働について

市との役割分担および協働したことによる効果

宮古市教育委員会学校教育課：

- ・ 会場および駐車場利用に向けた連絡調整
- ・ 参加児童募集に係る学校への周知調整 等

廃校になった旧赤前小学校を会場とした。  
会場利用に係る教育委員会総務課、生涯学習課との連絡調整を行って  
いただくことで、スムーズな会場利用につながった

ほか、各小学校へ案内いただいたことにより、  
参加児童募集のための学校での告知をスムーズに行うことができた

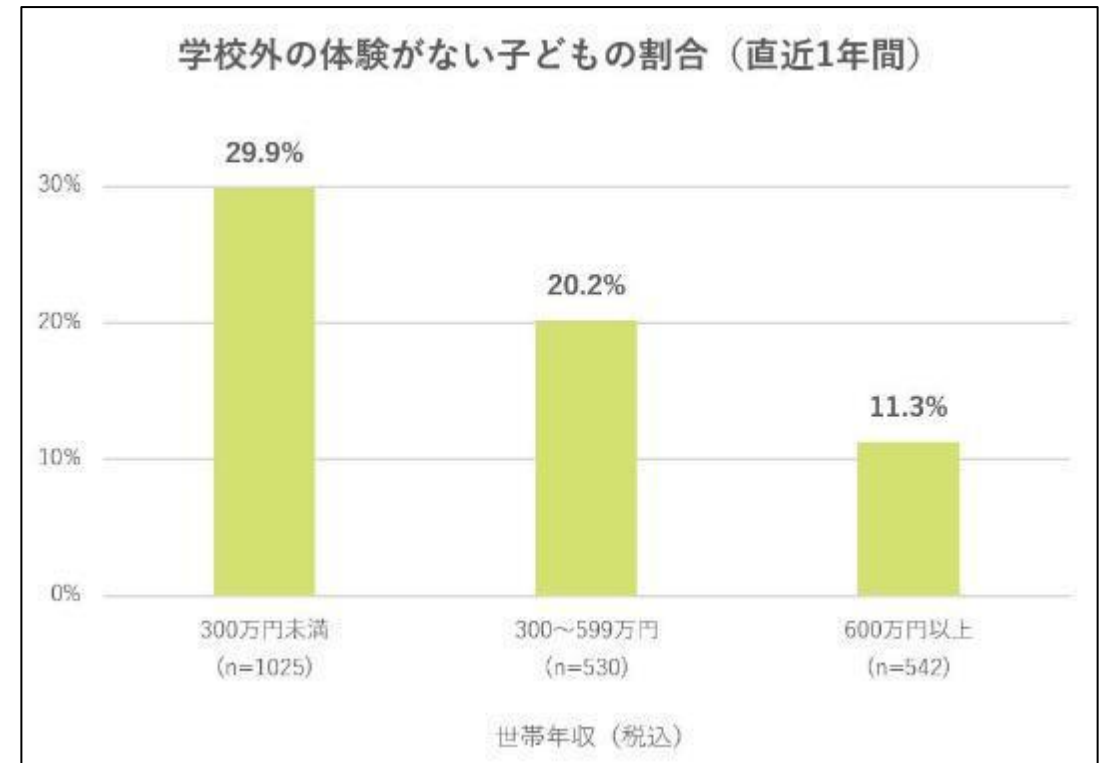
# 今後の展望について

• 課題（スライド2）の現状について

①子どもの体験活動、キャリア教育の充実

②若年層の人口流出

これらの課題はすぐに解決されるものではなく、継続的に取り組んでいく必要がある



# 今後の展望について

## • これからの事業について

体験の質の維持・向上を図りながら、  
より多くの子どもたちに機会を提供できるように、継続していきたい

1日目帰ってきたときから、**来年も参加するから明日も働いてベスカは少し残して、**と本当に楽しそうでした！

来年は中学生になるので、**ボランティアとして参加したい。**と、話していた。

2日間とても良い体験をさせていただきました。  
稼ぐために興味のない仕事もやるなど、働く意義を感じたのではないかと思います。ありがとうございました。**来年も参加させたいです。**

**二日間じゃ足りない、もっとやりたかった**と話していました。

ほんとに楽しかったようです🎵**来年は4年生になる弟と行くのを楽しみにしている**ので、ぜひ来年もおねがいします。

みやっこタウンのイベントは**継続させて欲しいです！妹も行きたい**と話してました。初めて参加させてもらいましたが良い体験になったと思います！携わっていただいた皆さまに感謝申し上げます。2日間ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。



NPO法人  
みやっこベース